



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 I-PEX株式会社

上場取引所 東

コード番号 6640 URL <https://www.corp.i-pex.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 土山 隆治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務統括部長 (氏名) 嶋崎 岳志 TEL 075-611-7155

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	43,128	△5.3	△609	—	65	△98.4	△427	—
2022年12月期第3四半期	45,531	△9.1	2,230	△60.9	4,149	△35.4	2,342	△52.7

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,082百万円 (△68.5%) 2022年12月期第3四半期 6,617百万円 (7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△23.05	—
2022年12月期第3四半期	126.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	94,182	59,686	63.3
2022年12月期	92,237	58,346	63.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 59,579百万円 2022年12月期 58,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年12月期	—	20.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,100	△0.9	360	△63.2	110	△94.8	△750	—	△40.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	18,722,800株	2022年12月期	18,722,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	172,194株	2022年12月期	172,166株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	18,550,614株	2022年12月期3Q	18,536,784株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

なお、業績予想の前提条件等につきましては、[添付資料] P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P 5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、原材料・エネルギー価格の高止まりに起因するインフレ、これに伴った金融引き締めによる内需の減少、不動産問題等を抱える中国経済の停滞により、緩やかな減速基調が継続しました。

わが国では、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、設備投資や個人消費の回復によって経済活動は好転しましたが、長期化するウクライナ情勢や物価の上昇により、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しております。

このような経済環境の中、当社グループにおいては、設備事業は引き続き堅調に推移しました。低迷していた電気・電子部品事業、自動車部品事業も回復基調にあります。

当社グループの電気・電子部品事業は、第3四半期において回復が見られましたが、上半期の落ち込みが影響し、前年同期比減収となりました。ノートパソコン向けコネクタは、第2四半期からの回復基調が継続し、堅調に推移しました。HDD関連部品は、IT企業のデータセンター向け投資が引き続き低調であった結果、大容量HDD部品の需要に大幅な改善は見られませんでした。利益につきましては、足元では改善しているものの、付加価値の高い製品の売上高減少とそれに伴う工場稼働率の伸び悩み等が影響し、前年同期比では減少しました。

自動車部品事業は、車載半導体不足の解消が進み、自動車メーカーの生産活動が回復したことを受けて伸長しました。エアバックやブレーキ等の安全走行系のセンサをはじめ、LEDヘッドライト向けコネクタの需要が堅調に推移し、前年同期比増収となりました。利益につきましては、増収効果に加え、利益改善活動に取り組んだことにより、回復基調となりました。

設備事業は、スマートフォンをはじめとするデジタル機器の需要低迷を受け、半導体メモリの市場が低迷する中、車載半導体やパワー半導体向けの半導体封止装置が引き続き堅調に推移したことにより、市況低迷の影響は限定的なものに留まりました。利益につきましては、付加価値の高い設備やスペアパーツの販売が好調であったことに加え、生産効率の向上等が寄与し、底堅く推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は43,128百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業損失609百万円（前年同四半期は営業利益2,230百万円）、経常利益65百万円（前年同四半期比98.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失427百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,342百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,945百万円増加し、94,182百万円となりました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金1,923百万円、現金及び預金521百万円等であり、主な減少要因は、建設仮勘定600百万円等であります。

負債につきましては、604百万円増加の34,495百万円となり、主な増加要因は、長期借入金1,923百万円、賞与引当金659百万円、支払手形及び買掛金381百万円等であり、主な減少要因は、短期借入金2,261百万円等であります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等による利益剰余金の減少1,169百万円、為替レート変動の影響による為替換算調整勘定の増加2,570百万円等により1,340百万円増加し、59,686百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に公表しました2023年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,293	14,815
受取手形及び売掛金	11,203	13,127
電子記録債権	1,374	1,604
製品	4,326	4,325
仕掛品	4,956	4,900
原材料及び貯蔵品	2,894	2,803
その他	2,145	2,642
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	41,193	44,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,392	27,155
減価償却累計額	△12,025	△12,830
建物及び構築物(純額)	14,366	14,324
機械装置及び運搬具	53,803	55,691
減価償却累計額	△35,343	△37,223
機械装置及び運搬具(純額)	18,460	18,468
工具、器具及び備品	25,853	26,224
減価償却累計額	△23,546	△24,247
工具、器具及び備品(純額)	2,307	1,976
土地	5,459	5,416
建設仮勘定	5,094	4,493
有形固定資産合計	45,688	44,680
無形固定資産		
のれん	2,038	1,877
その他	1,124	979
無形固定資産合計	3,162	2,856
投資その他の資産		
繰延税金資産	31	60
退職給付に係る資産	317	289
その他	1,865	2,122
貸倒引当金	△22	△44
投資その他の資産合計	2,191	2,427
固定資産合計	51,043	49,964
資産合計	92,237	94,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,010	2,391
電子記録債務	183	298
短期借入金	10,496	8,234
未払法人税等	260	376
賞与引当金	880	1,540
その他	5,841	6,095
流動負債合計	19,673	18,937
固定負債		
長期借入金	7,160	9,083
繰延税金負債	1,437	1,474
退職給付に係る負債	141	171
その他	5,478	4,828
固定負債合計	14,217	15,557
負債合計	33,891	34,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,968	10,968
資本剰余金	10,513	10,513
利益剰余金	32,365	31,196
自己株式	△363	△363
株主資本合計	53,484	52,314
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,319	6,890
退職給付に係る調整累計額	437	375
その他の包括利益累計額合計	4,756	7,265
非支配株主持分	104	107
純資産合計	58,346	59,686
負債純資産合計	92,237	94,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	45,531	43,128
売上原価	30,673	30,596
売上総利益	14,857	12,531
販売費及び一般管理費	12,627	13,141
営業利益又は営業損失(△)	2,230	△609
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	59
為替差益	1,949	644
助成金収入	97	133
その他	85	39
営業外収益合計	2,148	876
営業外費用		
支払利息	179	158
その他	50	42
営業外費用合計	229	200
経常利益	4,149	65
特別利益		
固定資産売却益	—	225
特別利益合計	—	225
特別損失		
固定資産売却損	179	—
投資有価証券売却損	469	—
減損損失	—	196
その他	193	29
特別損失合計	843	226
税金等調整前四半期純利益	3,305	64
法人税、住民税及び事業税	879	504
法人税等調整額	62	△12
法人税等合計	941	492
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,364	△427
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,342	△427

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,364	△427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	—
為替換算調整勘定	4,320	2,571
退職給付に係る調整額	△60	△62
その他の包括利益合計	4,253	2,509
四半期包括利益	6,617	2,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,593	2,079
非支配株主に係る四半期包括利益	23	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気・電子部品 事業	自動車部品 事業	設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,741	13,052	3,737	45,531	—	45,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	165	—	202	△202	—
計	28,778	13,217	3,737	45,733	△202	45,531
セグメント利益又は損 失(△)	4,833	△442	611	5,002	△2,772	2,230

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,772百万円は、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,781百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「電気・電子部品事業」セグメントにおいて、KRYSTAL株式会社及びMicroInnovators Laboratory株式会社の全株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては2,313百万円であります。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気・電子部品 事業	自動車部品 事業	設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,362	15,554	3,211	43,128	—	43,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135	194	—	330	△330	—
計	24,497	15,749	3,211	43,458	△330	43,128
セグメント利益	1,336	357	599	2,294	△2,903	△609

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,903百万円は、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,936百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電気・電子部品事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において176百万円であります。

「自動車部品事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において20百万円であります。